

事務事業名	街路樹の維持管理事業		所属部局	建設部		単位番号	7034													
			所属課室	道路整備課		課長名	入倉隆士													
	☐ 実施計画事業		所属担当	維持担当		担当者名	時田一直													
基本政策	基本計画	11	うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目									
政策	計画体系	18	道路網の整備	事業区分	01	一般	0	8	0	2	0	1	0	2	0	0	3			
施策			生活関連道路の整備		☐ 国の制度による義務的事業	☒ 施設等維持管理事業														
					☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業														
					☐ 市の制度による義務的事業	☐ その他の事業														
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 年度)			法令根拠																
	☐ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)																			
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・街路樹の維持管理を行い市民生活の快適性・安全性を確保するため。 ・白根地区24路線・櫛形地区30路線・若草地区2路線・甲西地区17路線				事業費の主な内訳 (22年度)															
					項目(細節)				金額(千円)				項目(細節)				金額(千円)			
					委託料				14,855											
					修繕料				1,506											
												計				16,361				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	街路樹73路線の維持管理
23年度活動予定	街路樹73路線の維持管理
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
・道路通行者 ・市民	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
・安全に通行できるようになる。 ・快適に暮らせるようになる。	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
・安全に通行できるようになる。 ・快適に暮らせるようになる。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 維持管理路線数	路線
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 人口	人
イ 人口	人
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 修繕箇所数/必要箇所数	%
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 道路整備に関する住民の満足度	%
イ 生活環境に関する住民の満足度	%

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	16,436	16,434	23,868	18,000	25,207	25,207		
	事業費計 (A)			千円	16,436	16,434	23,868	18,000	25,207	25,207	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	400	400	400	400	400	400	400	
		人件費計 (B)	千円	1,784	1,784	1,585	1,585	1,585	1,585	1,585	0
		(A) + (B)	千円	18,220	18,218	25,453	19,585	26,792	26,792	26,792	0
活動指標		ア 路線		73.0	73.0	73.0	73.0	73.0	73.0	73.0	
		イ									
		ウ									
対象指標	ア	人		72,669.0	72,669.0	72,833.0	72,900.0	73,000.0	73,100.0		
	イ	人		72,669.0	72,669.0	72,833.0	72,900.0	73,000.0	73,100.0		
	ウ										
成果指標	ア	%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	イ										
	ウ										
上位成果指標	ア	%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	イ	%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	安全で快適な道路環境を維持するため
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	街路樹が生長し高木になりすぎている
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	秋、冬になると木の枝や葉っぱ等が落ちて困るとの苦情があるので剪定するにあたり予算の増大をお願いしたい

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	秋、冬になると木の枝や葉っぱ等が落ちて困るとの苦情があるので剪定するにあたり予算の増大をお願いしたい
H 22年度に実施した改革改善の内容	高木の剪定作業及び苦情処理

事務事業名	街路樹の維持管理事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている 【理由↓】 街路樹の整備をすることにより温暖化等に役に立つと同時に景観にもいい。
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である 【理由↓】 公共施設等の適正維持管理は、市が行う義務ではあるが地域住民も協力してほしい。
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 適切である 【理由↓】 財政厳しいので、決まりごと(街路樹を植えていい場所かどうか)を決めた方がいい苦情が多い
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 今の体制では無理であり、担当を決めて対応するしかない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☐ 類似事務事業がない
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 剪定、落ち葉等の苦情対応ができない ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 剪定、落ち葉等の苦情対応ができない
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 街路樹を縮小しない限り出来ない
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 街路樹を縮小しない限り出来ない
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☒ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 公平・公正である 【理由↓】 街路樹沿い以外の方々にも協力を頂きたい

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	平成22年度において73路線の街路樹の維持管理は適切に行われたと思う。一部櫛形7号線のケヤキ通りの維持管理については、地元役員並びに地域住民の協力の中で進めていなくてはならない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性、 の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について 地元住民の協力が不可欠だが建設部をはじめ市の職員が時間外に葉っぱの清掃を率先してやる必要あり ボランティア団体の依頼も必要と考える																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 地元役員や地域住民との意見交換を実施し積極的にを行い、維持管理をするにあたり協議する事が大事である		(5) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果																						
		コスト削減優先度評価結果																						